

2024 年度 事 業 報 告 書

自 2024 年 10 月 1 日
至 2025 年 9 月 30 日

(65 期)

公益社団法人 日本南画院

1. 展覧会の開催

(1) 開催行事名、主催者名、後援・協賛者名、期日・場所等

開催行事名: 第 65 回日本南画院展(東京展)

主 催: 公益社団法人 日本南画院
後 援: 文化庁、東京都、竹田市、守口市、守口市教育委員会、読売新聞社
期 日: 2025 年 3 月 19 日(水)～3 月 31 日(月)
場 所: 国立新美術館

開催行事名: 第 65 回日本南画院展(大阪展)

主 催: 公益社団法人 日本南画院
後 援: 文化庁、大阪府、竹田市、大阪市、守口市、大阪府教育委員会、
大阪市教育委員会、守口市教育委員会、読売新聞社
期 日: 2025 年 4 月 22 日(火)～4 月 27 日(日)
場 所: 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

開催行事名: 第 65 回日本南画院展(京都展)

主 催: 公益社団法人 日本南画院
後 援: 文化庁、京都府、竹田市、京都市、守口市、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、守口市教育委員会、読売新聞社、京都新聞
期 日: 2025 年 6 月 24 日(火)～6 月 29 日(日)
場 所: 京都市美術館(通称:京都市京セラ美術館)

開催行事名: 日本南画院選抜展(金沢展)

会 場: 金沢 21 世紀美術館(石川県金沢市)
主 催: 公益社団法人 日本南画院
後 援: 石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、北國新聞社、
富山新聞社、北陸中日新聞、テレビ金沢、石川県水墨画協会
会 期: 2024 年 10 月 8 日(火)～10 月 14 日(月)

開催行事名：日本南画院大作展（守口市）

主 催：守口市 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

協 力：公益社団法人 日本南画院

会 期：2025 年 8 月 28 日（木）～8 月 31 日（日）

場 所：守口市役所 1 階

※ 「第 11 回中日美術交流聯合展（北京展）」は、当初 65 期での事業を計画していたが諸般の事情により、次年度（66 期）に会期を延期することを双方協議のうえ決定。

（会期：2025 年 11 月 6 日～11 月 16 日）

（2）展覧会実施結果の概要（入場者数、出品者数、入選者数）

第 65 回日本南画院展 東京展 於 国立新美術館

2025 年 3 月 19 日（水）～3 月 31 日（月）

入場者数 4, 541人

出品者数 186人 186点（東京 66、京都 60、大阪 60）

入選者数 339人

第 65 回日本南画院展 大阪展 於 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

2025 年 4 月 22 日（火）～4 月 27 日（日）

入場者数 2, 019人

出品者数 229人 229点（東京 35、京都 60、大阪 134）

入選者数 339人

第 65 回日本南画院展 京都展 於 京都市美術館（通称：京都市京セラ美術館）

2025 年 6 月 24 日（火）～6 月 29 日（日）

入場者数 4, 563人

出品者数 239人 239点（東京 35、京都 139、大阪 65）

入選者数 339人

2. 南画の研究、創作の奨励

日本南画院会員が主催する展覧会(研究会)を後援し、活動を促し、新たな創造, 創作の奨励を行う。

当年度(2024 年 10 月～2025 年 9 月)の主な創作研究活動は、

連の会(京都)	京都市勧業館 美術工芸ギャラリー	2024 年 10 月 1 日～6 日
冲天画塾(兵庫)	宝塚市立国際・文化センター	2024 年 10 月 25 日～29 日
関西水墨画会(大阪)	枚方市総合文化芸術センター	2025 年 2 月 12 日～17 日
茨城水墨画協会	ザ・ヒロサワ・シティ会館	2025 年 4 月 19 日～24 日
春風(京都)	OPT GALLERY	2025 年 5 月 9 日～14 日
宝塚画壇(兵庫)	宝塚市立文化芸術センター	2025 年 5 月 14 日～18 日
神戸水墨画同好会	アートホール神戸	2025 年 5 月 22 日～27 日
登紀野会(東京)	ギャラリー守玄齋	2025 年 6 月 19 日～24 日
石川県水墨画協会	石川県立美術館	2025 年 6 月 20 日～23 日
青玲社(大阪)	守口文化センター	2025 年 6 月 28 日～7 月 2 日
月居会(大阪)	リーガロイヤルギャラリー	2025 年 7 月 15 日～20 日
蒼林社(京都)	京都府立文化芸術会館	2025 年 8 月 5 日～8 月 10 日
現代南画協会(大阪)	大阪市立美術館 天王寺ギャラリー	2025 年 9 月 2 日～7 日
連の会(京都)	京都市勧業館 美術工芸ギャラリー	2025 年 9 月 23 日～28 日
その他		

3. 南画の指導及び南画家の育成

(1) 南画の指導について

●第 65 回日本南画院展において講演(ギャラリートーク)を行った。

東京展 2025 年 3 月 23 日(日) 於 国立新美術館

同 人(現 参与) 齊藤 梅朗

大阪展 2025 年 4 月 25 日(金) 於 大阪市立美術館 天王寺ギャラリー

副会長 潮見 冲天

京都展 2025 年 6 月 28 日(土) 於 京都市美術館(通称:京都市京セラ美術館)

顧問 山本 和夫

●各会員において、小学校などで水墨画の指導に当たった。

・堀江春美理事長により、御菌小学校(三重県伊勢市)において、2024 年 10 月 11 日(金)に「水墨画体験教室」を実施。いのちの大切さの話と水墨画講習を 20 年以上に渡り指導。

・月居和子副理事長により、日本南画院大作展(守口市)の併催・特別企画として小・中学生を対象とした「子ども水墨画教室」を 2025 年 8 月 31 日(日)守口市役所庁舎内にて実施。(主催:守口市 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課)

(2) 南画家の育成

●要請を受けての講演や当院に所属する研究グループ、各塾等に於いて創作活動の場を以って水墨南画作家としての育成を図る。

・大阪府小中学校美術教育研究会より、美術科教員を対象とした北河内地区夏季実技研修会において、水墨画-特に大阪美術学校や矢野橋村先生に関する講演の要請を受け、2025 年 7 月 25 日(金)に月居和子副理事長が出講した。

・(京都支部) 研究会的存在の蒼林社を通じて活動。

その他

4. 機関誌の刊行

2025 年 9 月 20 日:第 32 号の日本南画院報を発行。

編集長 月居 和子

編集委員 黒川 諤子、小林 冲悦、小畠 堯

5. 南画の海外への紹介

※「第 11 回中日美術交流聯合展(北京展)」は、当初 65 期での事業を計画していたが諸般の事情により、次年度(66 期)に会期を延期することを双方協議のうえ決定。

(会期:2025 年 11 月 6 日~11 月 16 日)

6. 百年誌の件

- 設立 100 周年記念事業として、百年誌刊行に向けて編纂中。

7. その他この法人の目的を達成する為の事業

●日本南画院大作展(守口市)

主	催：守口市 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課
協	力：公益社団法人 日本南画院
会	期：2025 年 8 月 28 日(木)～8 月 31 日(日)
場	所：守口市役所 1 階

- 堀江春美理事長が第 12 回日中交流水墨画公募展(福岡県川崎町)の審査員を務めた。

以上、当事業の一環である水墨・南画の普及振興と文化の発展に寄与することを以って
会員各々がその活動に従事している。